

常磐文藝

潮花の花 W 生技
朝の光の中に
朝の葉はそよぐ
星元の花は落ちました
花の美しさは
花の純潔さは
花の有する纏てが
霜解の土によつて
奪はれてしまひました
其の惨めさを嘲笑ふ様に
かきく音立てました
戯いてぼたり亦落ちた
矢張り汚されていつた
葉も亦動く
寂れ潮解の「らんか」

看護婦派出の求りに應ず

平町 南町
平看護婦會
電話三〇七番

△土地建物

賣買并ニ是ニ關スル萬般ノ御相談ニ應ズ

△床板、床縁落掛

澤山新荷着

◎大谷石本場一

品寸法御望次第

磐城建物

株式会社

平町五丁目
電話五一八番

◆謹告

吉例に依り來る

一月一日休業仕候

吉釀造元鹽屋本店

電話二七番

◆貴家の幸運◆

△龜田屋の特價大賣出し△

- 一、錦紗小紋、錦、山
二、珍柄ニコニコ、尾斬柄
三、モチリ外套、シヨール
一、友山縮緬、友山モスリン
△御仕着物、御婚着物、七五三祝物
▽セヒ隣近所の方々に合せ下され、一度御覽下さいまし

龜田屋吳服店

平町三丁目 (電話五七番)

銅御殿は贅澤に非らず

建築用材として銅板を推奨す
一、銅板の特色
其の用途は屋根、欄、軒、蛇腹、戸張、戸袋、煙突等、家内外の裝飾、日用品に至る迄
二、焦眉の急務
震災地の復興一日を競ふの時理想的唯一の材料として本来の眞價を發揮し來たり需要益々旺盛
三、弊店の信條
價値低廉、品質精潔、出荷迅速、誠實無比を綱
和洋鋼鐵 釜屋商店
平町五丁目
電話九番 一三九番

丸登株式會社

平町四丁目電話三三三番
川縣房二

福島縣石城郡平町
字長橋町五番地
常磐毎日新聞社

株式賣買中値

Table with 2 columns: Company Name and Price. Includes entries like 磐城銀行, 平銀行, 磐城實業, etc.

現代文化と偶像崇拜

吾々は神をば認識するであらう、而し其れはまつたく心理的哲學的であつて畢竟それは吾々を透し宇宙的實在である。此の意味からして吾々は偶像を破壊しなければならぬ。吾々は其の破壊者として今もなほ朽たないアンソを思ひ又たソクラテスを思ふのである。彼れの靈魂や北敵の曠野を今もなほさまよいつつあるであらう。

や世界の人心は一變した。凡そ社會の改造に志すものは孤獨反對貧乏嘲罵と面接しなければならぬ。而して彼れは合理的な希望を持つて常に眞理と愛とを友として生きなければならぬ。即ち彼れは正直で賢明で且つ大膽で常に一貫した目的に依つて指導されてゐなければならぬ。ソクラテスも云つてゐる様に吾々は例ひ傳統的の思想にこびてゐる人間共に何んど云はれようが偶像崇拜者と戦はねばならぬ。人間の行爲は何時の日何時の世でも不變なものではない、時が流れるやうにそれとも一時たりとも同じではない。それを同じだとニクスが地動説を高唱する

思惟する人間が若しも居るとするならば私其れを偶像崇拜者と呼ぶであらう。彼等は事實に於て自滅を急いでゐるやうなものだ。彼等は時の流れることを知らない、だから勿論生命の流れることを知らないのは當然だ。社會主義者は國をばほろぼさない、ほろぼすものは一群の偶像崇拜者たる國家主義者であらう勿論國家主義の本質は決して偶像崇拜ではない。私は永遠に日本の愛慕者たるが故に何處までも東西文明の融合に微力を捧げた。より良き社會の出現を欲すると同時に文化の向上を欲する故に偶像崇拜者を征服すべく戦いたい(終)



二十二年十二月廿五日夕刊

一部金貳錢 月貳圓
ニ限リ一ヶ月刊號
料告廣
五號十三字詰
一行五十錢
日刊休
日曜 大祭
祝日の翌日
所刷印
福島縣石城郡平町
田町十六番地
磐城新聞社印刷部
發行兼
編輯人 川崎文治
印刷人
所行發
福島縣石城郡平町
字長橋町五番地
常磐毎日新聞社

